

平成29年10月13日  
 東部農林振興センター 雲南事務所 農業普及部

標 題 「想い」を一つに！ 飯南町ニューファーマー研修会を開催

(ダイジェスト)

飯南町の新規就農者や研修生等を対象とした研修会を開催しました。これまで飯南町就農施策による園芸産地化に取り組んだ担当者の「想い」や、先輩農業者の今後にかける「想い」を伝えることで、若い生産者、先輩農業者、関係機関が一体となって今後の飯南町園芸産地発展に向けた「強い想い」を共有する場となりました。

10月12日（木）に飯南町の認定新規就農者や雇用就農者、研修生、産業体験者など就農希望者を対象としたニューファーマー研修会を開催しました。当日は関係機関を含め49名が参加しました。この人数は飯南町民のほぼ1パーセントとなります。今回は「想い」をテーマとして研修会で各講師や参加者に個々の「想い」を伝えてもらいました。

まず今年から運用開始となった共同選果施設の見学を行った後に、飯南町農振協特産部会長より就農者受入開始からリースハウス団地、選果施設ができるまでの苦労話やそこに行き着いた経過、担当者としての「想い」を伝えてもらいました。

次に、昨年度から鹿児島県から夏秋栽培できる場所を求めて、飯南町内リースハウス団地でミニトマト栽培を開始した（株）福岡園芸の福岡会長から、飯南町が夏秋産地として発展できる可能性や飯南町を含めた地方園芸産地の未来について語っていただき、若い農業者と一緒に園芸産地作りに取り組むたいと「想い」を伝えていただきました。

最後に飯南町移住定住担当、就農担当がこれまで取り組んできた移住から就農までの施策についての説明及び研修会参加者各自の自己紹介や決意表明などそれぞれの「想い」を語っていただきました。

参加者は、それぞれの「想い」がありますが、根底には「飯南町農業を何とかよくして発展させたい」との共通認識があることを会を通じて再確認することができました。

これからの飯南農業を支えていく立場である新規就農者や研修生が、共に手を取り合っ一丸となって農業に取り組めるよう、関係機関も支援に力を入れていきます。また、研修会の後は情報交換会として、参加者は夜遅くまで賑やかに交流を深めました。

研修会場はほぼ満席。参加者は熱心に講師の話に耳を傾けてました



情報交換会は多数の追加参加希望があり席が足りなくなりました。大盛り上がりでした。